

月刊 ウィーン

Monatsmagazin Japanisch

現地オリジナル取材と編集で
ウィーンを伝える月刊情報紙

創刊平成元年 創刊31年目 **Nr. 361**

GEKKAN-WIEN 2019年11月号



Albrecht Dürer Feldhase, 1502 Aquarell und Deckfarben, Pinsel, mit Deckweiß erhöht © Albertina, Wien
アルベルティーナ『アルブレヒト・デューラー』展より



杉本純の原子力の話II ウィーンと京都 94

日本原子力産業協会の主催により、二〇一九年世界原子力大学・夏季研修(WNU-SSI)への日本からの参加を支援した研修生による報告会が、一〇月一六日に東京で開催された。

WNU-SSIは、毎年夏に世界三〇か国以上から若手実務経験者が集まり、原子力に関連する国際機関や各国の現役リーダーから講義を受けるとともに、少人数での議論やプレゼンテーションを行う合宿形式の研修であり、今回は六月三日〜七月二七日の五週間、ルーマニア(ブカレスト)とスイス(バーデン)で開催された。報告会では、五名の研修生、市川博也氏(東芝エネルギーシステムズ)、原達矢氏(関西電力)、文野通尚氏(日立GEニュークリア・エナジー)、松永尚子氏(三菱重工業)、湯淺雄一郎氏(東京電力ホールディングス)が、それぞれ研修の成果や所感を発表した。



https://www.jaif.or.jp/191021-1

開会に際し、植竹明人常務理事が挨拶に立ち、故向坊隆氏の遺功を後世に託すべく二〇〇八年度より実施されている国際人材育成事業の実績を振り返り、「若手は貴重な人材。国際舞台で大いに活躍してもらい、二〇一三〇年後に人的ネットワークが形成され、原子力産業界に還元されることを期待する」と述べた。各研修生からの報告の中で、市川氏は、WNU-SSIの五〇項目にわたる講義内容を図示し、「幅広く色々な知識が得られた」としたほか、原氏も、ストレスとリーダーシップについて学ばせる戦略ゲーム形式のグループワークを紹介し、「社内の研修ではこれまで経験がなく、今後の業務に活かせる」と感じた」と、成果が得られたことを強調した。

また、松永氏は、テクニカルツアーの所感を発表。スイスのゲスゲン原子力発電所を訪れ「女性の運転員を採用していることや予想外に市街地と近い立地に驚きを感じた」としている。湯淺氏は、福島第一原子力発電所事故に対する各国参加者の関心の高さをあげ、「様々なチャンネルを通じて最新の状態を伝えることが必要」と、海外への効果的な情報発信の重要性を強調した。参加者主体のミニ講義が印象に残ったという文野氏は、研修を通じた所感として、炭酸ガス排出削減に関わる原子力の重要性や初期投資の小さい小型モジュール炉に関心を持つ国が多かったとするとともに、英語でのコミュニケーションの難しさもあげた。今回のWNU-SSIは、我が国での開催が計画されており、報告を行った研修生からは、提案や留意点なども述べられた。

さて、今月のウィーンと京都の対比では、両市のウォーキングツアーについて述べる。ウィーンと同ツアーで日本人観光客向けなのは、旧市街にあるシュテファン寺院、王宮、国立オペラ座やモーツァルトが住んでいた家などの名所を歩いて巡り、日本人ガイドが説明するものが多い。ガイドは国家検定試験に合格しているのでウィーンの世界史、文化に詳しい。変わったところでは「第三の男ウォーキングツアー」がある。このツアーではウィーンを舞台にした往年の名画「第三の男」の映像と音楽の引用により



映画の雰囲気に入りつつ、ヨーゼフ広場やメルカー・バスターなどの撮影現場を訪ねる。また、「第三の男下水道ツアー」は、映画に登場する地下への梯子を降りて、クライマックスの舞台となるウィーンの下水道システムの最古の部分まで歩いて渡るユニークなツアーである。

一方、京都における外国人観光客向けのウォーキングツアーでは、一九九六年に始まった五時間のウォーキングツアーの人気の高い。プロのガイドが京都の歴史と文化を教えるとともに、神社や寺院など、知る人ぞ知る穴場スポットを紹介する。また、日本の手工芸品アトリエでのお土産の購入やお茶を飲みながら散歩をする。さらに、「夜の祇園徒歩ツアー」では、ガイドは、花街の歴史芸者の着物や髪型からルール、日常の儀式まで、芸者の歴史について説明し、さらに祇園の裏通りを案内する。ツアー中に小説や映画の「SAYURI」に登場する場所を案内するユニークなツアー。オプショナルで、先斗町と宮川町の他の二つの花街も訪問することも可能。両市のウォーキングツアーは、内外の観光客を対象として、歩きを楽しむための幅広いメニューが用意されているのが共通している。

余談であるが、筆者はウィーン駐在時に日本人会主催のモーツァルトゆかりの地ウォーキングツアーに参加したことや、知人のガイドに美術史博物館内を案内してもらったことがある。両市のウォーキングツアーにまつわる話を紹介できた幸運に感謝しつつ、映画「第三の男」のラストシーンとなったウィーン中

央墓地の並木道のスケッチを掲載させていた。

■ 杉本純 元京都大学教授

元原子力機構ウィーン事務所長

杉本純の原子力の話II 「ウィーンと京都」の第1回からの全記事が次のサイトに掲載されています: <http://wattandedison.com/Sugimoto.html>

クリスマスマーケット Weihnachtsmarkt

- ◆ MQの冬 Winter Im MuseumsQuartier 7区 11月7日から 月~金 16-23 土日祝 13-23
- ◆ ハースハース Haas & Haas 1区 Stephansplatz 4, Innennhof 11月8日から 月~金 16-20 土日 14-20
- ◆ シュピッテルベルク Spittelberger Weihnachtsmarkt 7区 Spittelberggasse, Burggasse, Stiftgasse 11月14日から 月~木 14-21 金 14-21:30 土 10-21:30 日祝 10-21
- ◆ 市庁舎前広場 Weihnachtstraum 1区 Rathausplatz 11月15日から 金土 10-22 日~木 10-21:30
- ◆ シュテファン広場 Weihnachtsmarkt Stephansplatz 1区 Stephansplatz 11月15日から 毎日 11-21
- ◆ アム・ホーフ Adventmarkt Am Hof 1区 Am Hof 11月15日から 月~木 11-21 金土日祝 10-21
- ◆ オペラ座横 Advent Genussmarkt bei der Oper 1区 Mahlerstraße 11月15日から 毎日 11-21
- ◆ 王宮前ミハエル広場 K.u.k. Weihnachtsmarkt 1区 Michaelerplatz 11月15日から 毎日 12-20
- ◆ ウィーン大学キャンパス Weihnachtsdorf Universitäts Campus 9区 Alser Straße 4 11月15日から 月~水 14-22 木金 14-23 土 11-23 日 11-21
- ◆ 見本市会場前 Almadvent 2区 Messeplatz 1 11月15日から 月~金 11-21 土日 10-21
- ◆ フライウング Altwiener Christkindlmarkt 1区 Freyung 11月16日から 毎日 10-21
- ◆ 大観覧車前 Wintermarkt am Riesenradplatz 2区 Prater 11月16日から 月~金 12-22 土日祝 11-22
- ◆ マリア・テレジア広場 1区 Maria-Theresien-platz 11月20日から 金土 11-22 日~木 11-21
- ◆ ベルヴェデーレ宮殿 3区 Prinz-Eugen-Straße 27 11月22日から 月~金 11-21 土日祝 10-21
- ◆ カールスプラッツ Art Advent am Karlsplatz 11月22日から 毎日 12-20
- ◆ シェーンブルン宮殿前 Weihnachtsmarkt vor dem Schloss Schönbrunn 11月23日から 毎日 10-21

